

なごしのはらえ

「夏越の祓」 斎行のご案内

日頃は八幡宮に多大なご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

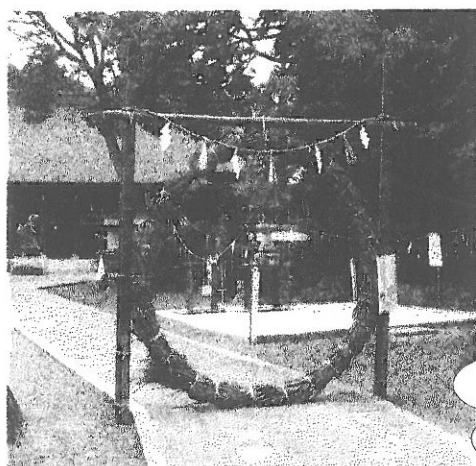
さて、八幡宮年中行事の一つであります「夏越大祓」を、下記により斎行致します。
氏子の皆様には、多数お参り下さいますようご案内申し上げます。

記

日 時：令和6年6月30日（日） 午後4時より

場 所：八幡宮 境内

なお、茅の輪は、7月7日撤収予定です。設置中はご自由におくぐり下さい。



茅の輪の葉を持ち帰らないようにしてください。
(他人の罪や穢れを持ち帰ることになると
言われております)

夏越の祓とは

大祓（おおはらえ）は、6月と12月の晦日（新暦では6/30と12/31…八幡宮では12/30）に行われる除災行事です。

犯した罪や穢れ（けがれ）を除くためのお祓いの行事で、6月の祓を夏越の祓（なごしのはらえ）、12月の祓を年越の祓（としこしのはらえ）といいます。

夏越の祓では多くの神社で「茅の輪（ちのわ）くぐり」が行われます。これは、茅（かや）草で作られた輪の中を、左まわり→右まわり→左まわりと8の字に3回くぐり、穢れを祓うものです。

神話では茅の輪を腰に付けて災厄から免れたとして、茅の旺盛な生命力が、神秘的な除災の力を有すると考えられてきました。

当八幡宮でも茅の輪を作りますので、ぜひ厄除けにくぐりに来てください。

この近くでは、砥鹿神社でも行われています。